

ASAHI SYONAI  
PROJECT

# 朝日庄内プロジェクト

～地域と連携した森林の保全管理を推進～

朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター



# 朝日庄内プロジェクト

朝日山地森林生態系保護地域とその周辺(鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊、庄内海岸林、高館山自然休養林)において、保護と利用の調整を図るため、常設の朝日山地森林生態系保護地域管理委員会を核とするとともに、地方自治体や地域住民、自然保護団体等と協働して、地域住民参加型の森林生態系の保全と利用及び再生に取り組むプロジェクトです。



- 1:大朝日岳
- 2:ヒメサユリ
- 3:大鳥池
- 4:ダケカンバ林
- 5:ブナ林
- 6:庄内海岸林と鳥海山
- 7:クロマツ林
- 8:ハマヒルガオ

# フィールドの概要

朝日庄内プロジェクトのフィールドは、大きく4つのエリアに分かれています。

## 朝日山地森林生態系保護地域

我が国最大規模のブナ林等原生的な自然を将来にわたり維持するために、保護と利用の適切な調整を図ります。

## 鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊

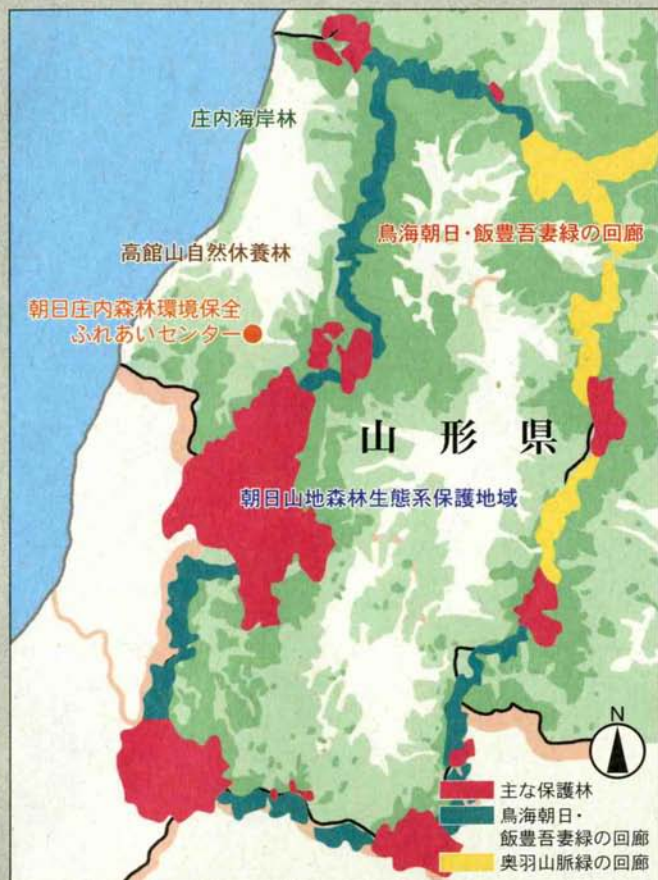
生態系保護地域等の保護林同士を連結し野生動植物の広域的なつながりを確保するために、森林の再生・復元などに取り組みます。

## 庄内海岸林

先人が残した延長34kmに及ぶクロマツ林の公益的機能を維持・回復するため、森林整備活動などに取り組みます。

## 高館山自然休養林

里山には珍しいブナや分布上貴重な植物が自生している自然環境の保全に努めます。



# 朝日山地森林生態系保護地域の保全管理



朝日山地森林生態系保護地域は、山形県と新潟県にまたがる朝日山地の中核部に位置しています。この地域には、我が国最大規模のブナ林等原生的な自然状態が維持されていることに加え、低地から高山帯まで広範な植生帯が存在し、変化の富んだ種々の生態系が展開し、多様な動植物が生息・生育しています。(7万haに及ぶ全国最大規模の保護地域)

## 管理委員会の運営

保護地域の管理は、地元住民、自然保護団体、山岳会、漁協、自治体等(16名)をメンバーとした全国初の試みとして常設の「管理委員会」を設置し、適切な保全と利用管理を図ることとし、地域住民参加型の保全管理を実践しています。

管理委員会は、年1~2回、公開で開催して、モニタリング調査や巡視活動などの案件について論議し、保全管理に反映させています。

## モニタリング調査(森林植生、溪流魚)

保護地域内における入林による影響について、山菜の採取、溪流釣りの2つの人為の影響を評価するため、平成15年度から5年間にわたる調査を実施しています。

## ボランティア巡視活動

7万haに及ぶ広大な保護地域を適切に保全管理するためには、国有林の森林官や当センター等による巡視に加え、登山者、共用林組合、釣り人等の関係団体から巡視員を登録しボランティアによる巡視活動を行っています。



# 鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊内における自然再生等



「緑の回廊」のイメージ図



鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊は、関東森林管理局と連携して、山形県内を一巡する形で、秋田、山形、新潟、福島、宮城県境沿いに、奥羽山脈緑の回廊の神室山から、鳥海山、月山、朝日山地、飯豊山、吾妻山を経由し、蔵王山に至る地域に約2km以上の幅で約260kmにわたって設定されています。

設定面積は、約6.4万haで、連結される保護林約12.6万haを合わせると、約19万haになります。

## 自然再生施業

回廊内のスギを中心とする人工林について、猛禽类等野生生物の生息環境に配慮しながら、針葉樹と広葉樹の混交林化を進める施業を関係する森林管理署と連携して行います。

## スキー場跡地の植生復元

スキー場跡地の植生復元を戸沢村、山形森林管理署最上支署等と連携して行い、緑の回廊の機能回復を図ります。

## モニタリング調査

野生動植物の生息・生育状況を把握するためのモニタリング調査を行い、その成果をこれからの緑の回廊の取り扱いに活かすこととしています。

1: スキー場跡地(一部)

2: フナの稚樹

1

2



# 庄内海岸林の保全活動



庄内海岸の国有林は、北は遊佐町から南は鶴岡市までの延長約34km、幅200～800m、面積835haで、そのほとんどが飛砂防備保安林、保健保安林に指定され、暮らしや産業に重要な役割を果たしています(民有林を合わせると約2500ha)。

この庄内海岸林を保全するため、広域NPO、ボランティア団体、教育機関、行政など、多様な主体による協同関係から成る「出羽庄内公益の森づくりを考える会」が立ち上げられ、民有林・国有林を協同して保全するネットワークを構築し、保全活動に取り組んでいます。

## 森 林整備ボランティア活動の支援

当地域では、既に「出羽庄内公益森づくりを考える会」などが中心となって各種の森林整備ボランティア活動が実施されています。当センターも「出羽庄内公益の森づくりを考える会」のメンバーとして参画し、各種の活動にスタッフを派遣するなどの支援を行っています。

## 森 林整備活動

支援活動の外に、当センターと庄内森林管理署の連携事業として、植え付けや下刈、除伐などの森林整備活動を実施しています。

## 環 境美化活動(クリーン作戦)

庄内海岸林では、漂着ゴミ、不法に投棄されたゴミが目立つことから、関係団体と協力してクリーン作戦を実施しています。

1:クロマツ植樹(酒田篤学校)

2:下刈、枝打(酒田第一中学校)

3:クリーン作戦

1

2

3



# 高館山自然休養林の保全活動

鶴岡市の西方に位置する高館山は、標高274mと小高い山であるものの、里山には珍しくケヤキの大径木やブナ、分布上貴重な植物が自生するなど多くの植物を見ることができます。昭和49年に東側斜面約200haが自然休養林に指定され、東屋、遊歩道などの整備が行われています。

また、森林浴の森100選(S61)にも選定され、地元住民からも親しまれています。

## 森 林整備活動

高館山には、松くい虫被害やナラ枯れ被害により上層木が存在しない箇所が散在しています。これらの箇所の中には、マツやコナラなどの稚幼樹が発生しているところも見られます。この稚幼樹の生育環境を改善させるために関係団体と協力して刈り出しなどの作業を行っています。

## ナ ラ枯れ被害対策

ナラ枯れ被害とは、カシノナガキクイムシと共生関係にある通称ナラ菌によるもので、通水組織に影響を与え枯死するものと考えられています。山形県内では庄内地域で最初に被害が確認され、その後、最上、村山、置賜地域に被害が拡大しています。

高館山でもナラ枯れ被害が発生していることから、地域の皆さんに被害の実態や対策(薬剤注入)を知ってもらうためにナラ枯れ被害見学会を実施しています。

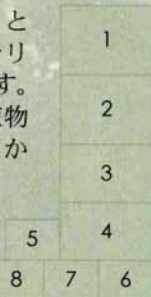
## パ トロール(巡視活動)

高館山では、分布上貴重な植物など多くの植物を見ることができます。また、早春期には、オオミスミソウ、キクザキイチリンソウやカタクリなどの可憐な花々を手軽に見ることができます。

当センターでは、空き缶やペットボトルなどのポイ捨て、植物の盗掘などを未然に防止するために、3月下旬から4月中旬にかけてパトロールを行っています。

- 1: 山頂付近から鳥海山方面
- 2: 下池から高館山
- 3: 稚樹の刈出し作業
- 4: ナラ枯れ被害見学会

- 5: オオミスミソウ
- 6: ミズバショウ
- 7: キクザキイチリンソウ
- 8: カタクリ



## 気軽にご相談ください

当センターでは、朝日山地森林生態系保護地域や庄内海岸林などの保全活動に加え、様々な自然環境に関する取組に協力します。

- ① ナラ枯れ被害対策等の研究
- ② 山形県で推進している「やまがた公益の森構想」
- ③ 鶴岡市(旧朝日村)で推進している「六十里越街道歴史資源活用事業」
- ④ 林業体験、森林環境教育等



東北森林管理局 朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター

〒997-0404 山形県鶴岡市下名川字落合3  
電話:0235-58-1730 FAX:0235-58-1731  
ホームページ:<http://www.fureai-kokuyurin.jp>  
E-mail:[t\\_syonai\\_f@rinya.maff.go.jp](mailto:t_syonai_f@rinya.maff.go.jp)